

1. 大学生の特性を活かすヒント – 新鮮な取組を生み出せる

特定非営利活動法人「人間の安全保障」フォーラム

★大学生を活かす1つの方法として、彼らが専攻する学問について、子どもたちにその知識を授ける方法がある。

★大多数の大学生は自身の専攻と興味関心範囲が形作られている。例えば、弊法人に協力を頂いている宮城教育大学の学生達は彼らが専攻する学問知識の移転を子どもたちに行っていた。特に理科系の場合は実験教室等を開催し、子どもたちの学習イメージの確立が1つ目の効果である。

★しかし、この学習支援は、子どもたちが知識を得るということとは別に、教えている学生達も、自身の専門性とその習熟度を直視せざるを得ない。とくに、自身が理解していることと知識移転することはまったくの別物だと感じてる。

★つまり大学生を招いたワークショップは子どもたちの学習意欲を具体化するだけでなく、ボランティアの専門性や将来像をも再認識させ習熟させる。この両者の変化は常に怒るものであり、その度にマンネリ化しない鮮度の高い学習支援空間を作り出す事が出来る。